

法人 おおたわら

——発行所——
 (社)大田原法人会
 ——発行者——
 会長 加藤利勝
 広報委員長 吉川恵造
 ——発行印刷所——
 有限会社 光陽社

税金で 豊かなくらしと 豊かな心

大田原市親園中学校 3年 関谷美咲



9台勢揃いした屋台は見事!!

4月19日・20日に大田原屋台まつりが開催されました。この屋台は記録によると、文政元年(1818年)に建造された屋台を始め、各町内の特徴のある木彫りがされた屋台が今年は9台勢揃いしました。

法人会
 消費税期限内納付
 推進運動



社団法人 大田原法人会

TEL 0287-23-4802 FAX 22-5985

<http://www11.ocn.ne.jp/~otawara/>

● 第24回通常総会、盛会裡に終わる! ●

5月28日に第24回通常総会が、多数のご来賓の皆様や会員の参加のもとに開催されました。

総会に先だち、永年にわたり法人会活動に多大なる貢献をされた方や福利厚生制度推進や組織の拡充に顕著な働きをなされた方々に会長より表彰状・感謝状が授与されました。続いて総会に入り、第1号議案から第3号議案まで、参加会員皆様のご協力により満場一致で原案通り承認可決されました。その後、ご来賓の皆様よりご祝辞をいただき、盛会裡のもと終了することが出来ました。

* 会長表彰状 (以下 順不同・敬称略)

- ・富塚キミ・石塚慶子・印南雄彦・関谷暢之
- ・久留生正人・相馬トメ・廣川允彦・大西広明
- ・花山 登・青山吉博・山下 競

* 会長感謝状

- ・渡邊速人・片桐俊輔・鈴木文雄・金澤栄子
- ・和氣喜美子・大武幸雄

* 会員加入勸奨功績感謝状

- ・平山晃雄・清水明子・栃木銀行大田原支店
- ・大同生命保険(株)那須営業所

* 福利厚生推進表彰

- ・川崎和子・郡司佐知子・吉田久代・大塚竜生
- ・足利不動産(株)・アフラック・田中 圭



ご来賓の皆様



挨拶中の加藤会長



進行をする
石川青年部長



開会のことば
岡部副会長



事業報告・
小池総務副委員長



議長・
関谷青年副部長



監査報告・鈴木監事



只今 審議中



表彰式風景



懇親会場



乾杯の
玉木大田原商工会頭



来賓紹介・田中女性部長

講演会

モチベーションビルダーのいう伸氏をむかえ、「人間力を磨く！」のテーマでの講演会でした。氏のセールスマンとしての経験の中で確立され、磨き上げられた感性・更に実演販売業界に転職してからの血のにじむような努力について語った。私たちが何気なく聞いている実演販売にも綿密なシナリオがあり、一字一句まで文章にして、どんな状況でもスラスラはなせるようになるまで練習しているからこそ、実践においてお客をつかむことが出来るのだと知った。

しかし、実演販売は言葉だけではなく、視覚の効用を上手に取り入れている事。目に入る情報は高速で大量の情報を深く伝える事が出来るので目に訴え、イメー



目力を力説するいう氏

ジをふくらませてもらうのだそうだ。その後、目で伝えるコミュニケーションの方法を実際に隣同士でやってもらい、「アイコンタクト」にのぞんだがなかなか思いが伝わらず、皆さん「目力」不足の様でした。しかし、どなたも笑いながら楽しげに参加しており「目で喋る」事に集中しておりました。最後に、どんな場合でも最終的には「人間と人間として」、向き合うことがより良い結果を生み出す。と締めくくり、元気で熱意に溢れた講演を終えました。



講師とともに



大田原税務署・竹澤署長



大田原市・藤田副市長



黒磯商工会・渡辺会長



税理士会・吉澤支部長



県法連・大屋専務理事



閉会のことば・
佐藤副会長

祝 辞 中 の 皆 様

重 軽 量 鉄 骨 加 工 ・ 鉄 骨 組 立 建 設 一 般

有限会社 **和 氣 工 業**

〒329-2815 栃木県那須塩原市下大貫926-3
TEL 0287-37-0609 FAX 0287-37-4664
Wakikougyou@cyber.ocn.ne.jp

各支部総会・研修会

4月から5月にかけて、各支部総会と研修会が開催されました。研修会は、大田原税務署法人課税第一部門、内田厳統括官のあいさつ後、和久則夫上席調査官より「平成20年度税制改正」についてでした。

● 4月24日 黒磯支部総会 ●



◀時庭支部長の挨拶



審議中の会場

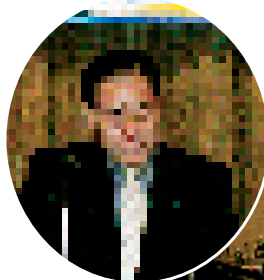


挨拶中の内田統括



和久上席による研修

● 5月8日 西那須野支部総会 ●



◀挨拶中の城田支部長



審議中の会員

● 5月9日 大田原支部総会 ●

◀参加者の皆様へ・
吉川支部長挨拶

総会時の会場

● 5月12日 塩原支部総会 ●



◀挨拶する岡部支部長

▼研修会場内



開湯千三百七十年
“鹿の湯温泉かけ流しの宿”

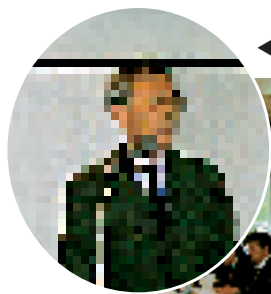
名湯 白いにがり湯

旅館山快

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本22
TEL 0287-76-3070 FAX 0287-76-3071
<http://www12.ocn.ne.jp/~sankai/>



● 5月13日 黒羽支部総会 ●



◀ 渡辺支部長の挨拶



会員の皆様

● 5月14日 湯津上支部 ●



◀ 挨拶中の佐藤支部長



審議中の会員

● 5月15日 那須支部総会 ●



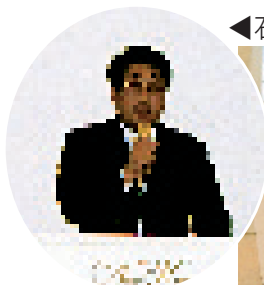
◀ 会員をねぎらう平山支部長



聞き入る会員

● 青年部総会 ●

4月22日、大田原市「KATSUTAYA」にて開催。総会前には、女性部と合同で竹澤大田原税務署長より「税の話」のテーマでの講話をいただき、その後総会では、提出された全ての議案が意義なく承認となりました。続く懇親会では熱気に満ちた語らいで部員間の絆が更に深まったようです。



◀ 石川青年部長の総会挨拶



▲ 審議する青年部員

● 女性部総会 ●

▲ 議長を務める
田中女性部長

4月22日・大田原市「KATSUTAYA」において女性部総会が開催され、上程されたすべての議案が可決承認となりました。総会後の研修会は加藤法人会長の「法人会について／会社方針の作り方」と、青年部と合同で竹澤大田原税務署長より「税の話」と題してお話をいただきました。



▲ 青年部・女性部一緒に勉強



O ohashi
A ir-conditioning system
P lumbing system
E lectrical system

総合設備業〔冷暖房空調・給排水衛生・電気設備 設計施工保守〕

大橋総設工業株式会社

〒324-0057 栃木県大田原市住吉町2丁目4番24号
TEL: 0287-23-3100(代) FAX: 0287-23-3102



ISO 9001
Certificate Number AB00011
ISO 14001
Certificate Number 1689

平成19年度決算額・20年度予算額

(収入の部)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	19年度決算額	20年度予算額
基本財産運用収入	基 本 財 産 利 息 収 入	20,310	20,000
特定資産運用収入	特 定 資 産 利 息 収 入	23,005	20,000
会 費 収 入	一 般 会 費 収 入	15,760,000	15,250,000
事 業 収 入	研 修 会 費 収 入	4,397,290	4,000,000
	支 部 事 業 収 入	1,096,442	1,000,000
	青年・女性部会事業収入	1,174,329	1,000,000
	広 告 収 入	270,000	300,000
	業務委託手数料収入	360,000	360,000
	小 計	7,298,061	6,660,000
補 助 金 収 入	全法連補助金収入	1,258,500	1,249,300
	県 連 補 助 金 収 入	963,200	800,000
	そ の 他 補 助 金 収 入	1,900,000	1,900,000
	小 計	4,121,700	3,949,300
推 進 費 収 入	全法連推進費収入	4,936,100	4,741,400
	福利厚生表彰費収入	100,000	100,000
	小 計	5,036,100	4,841,400
雑 収 入	受 取 利 息	14,238	10,000
	雑 収 入	526,410	700,000
	小 計	540,648	710,000
繰 入 金 収 入	収益事業特別会計繰入金収入	0	0
事業活動収入計		32,799,824	31,450,700

(支出の部)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	19年度決算額	20年度予算額
事 業 費	研 修 会 費	9,230,943	8,000,000
	社 会 貢 献 活 動 費	1,424,556	1,500,000
	会 報 発 行 費	1,396,732	2,500,000
	会 員 増 強 推 進 費	94,500	500,000
	支 部 活 動 費	5,741,753	5,500,000
	青年・女性部会活動費	2,186,118	2,000,000
	県 連 会 費	152,720	148,680
	調 査 研 究 費	139,000	400,000
	負 担 金	211,500	400,000
	渉 外 費	372,650	400,000
	慶 弔 費	111,500	200,000
	表 彰 費	120,643	300,000
	福利厚生制度表彰関係費	40,000	100,000
	給 料 手 当		2,400,000
	小 計	21,222,615	24,348,680
会 議 費	総 会 費	965,251	2,000,000
	役 員 会 費	840,072	1,000,000
	委 員 会 費	383,320	700,000
	厚 生 委 員 会 費	72,100	100,000
	そ の 他 会 議 費	22,500	200,000
	小 計	2,283,243	4,000,000
管 理 費	給 料 手 当	5,800,000	3,600,000
	福 利 厚 生 費	909,860	1,000,000
	旅 費 交 通 費	309,560	600,000
	通 信 運 搬 費	292,547	500,000
	什 器 備 品 費	0	100,000
	リ ー ス 料	437,220	600,000
	消 耗 品 費	267,808	400,000
	修 繕 費	0	100,000
	印 刷 製 本 費	36,750	100,000
	車 両 費	106,181	200,000
	光 熱 費	262,446	400,000
	賃 借 料	1,090,000	1,090,000
	事 務 所 管 理 費	15,760	100,000
	租 税 公 課	123,300	200,000
	支 払 手 数 料	62,837	100,000
	雑 費	30,451	200,000
	小 計	9,744,720	9,290,000
事業活動支出計	事業活動支出計	33,250,578	37,638,680
特 定 預 金 支 出	退職給与引当預金支出	600,000	400,000
	会 館 建 設 積 立 金	23,005	20,000
	周年行事引当預金支出	200,000	100,000
	減価償却引当資産取得支出	700,000	100,000
	小 計	1,523,005	620,000
固定資産取得支出	什器備品購入支出	0	300,000
予 備 費	予 備 費	0	1,112,386
当 期 収 支 差 額		△1,973,759	△8,220,366
前期繰越収支差額		10,194,125	8,220,366
次期繰越収支差額		8,220,366	0

* 新公益会計基準に基づき会計処理を実施しております。

* 給料手当は従事割合にて分割し、事業費と管理費に計上してあります。

(20年度予算より実施)

* 詳細はホームページに記載致しますのでご覧下さい。

<http://www11.ocn.ne.jp/~otawara/>

“お米の生産から流通まで”
米麦集荷・肥料・農薬販売

株式会社 若林肥料店

取締役社長 若林 六平
栃木県大田原市山の手2丁目9番3号

公益法人制度が抜本的にかわります

税 務 署
コ ー ナ ー

- 公益法人制度が、明治29年の民法制定以来続いてきた主務官庁制を廃止し、内閣府に置かれる民間有識者からなる公益認定等委員会（※）が中心となって一元的に公益性の判断、監督を行う制度に抜本的に変わります。
- ※ 都道府県においても国と同様に民間有識者からなる合議制の機関が設置されます。
- これまでは、法人の設立と公益性の判断が一体であったために法人の設立は容易ではありませんでしたが、これを分離し、登記のみで法人が設立できる制度（一般社団法人・一般財団法人制度）を創設します。そのうちの公益目的事業を行うことを主たる目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見に基づいて公益認定を受けることができます。
- 新制度の施行は平成20年12月1日です。
- 現行公益法人から新制度での法人への移行期間は5年間（平成25年11月30日まで）設けられています。
- 法人会も、認定を受けて公益社団法人・公益財団法人に移行するか、一般社団法人・一般財団法人に移行するかを選択する必要があります。
- 移行期間中に移行しなかった法人は解散したものとみなされます。

公益法人制度改革の概要

（現行公益法人制度）

◎法人設立等の主務官庁制・許可主義
（法人の設立と公益性の判断は一体）

（社団法人・財団法人）

法人の設立

主務官庁の許可が必要



公益性の判断

主務官庁が自由に判断できる

分離

（新制度）

◎主務官庁制・許可主義の廃止
（法人の設立と公益性の判断を分離）

（一般社団法人・一般財団法人）

法人の設立

登記のみで設立

（公益社団法人・公益財団法人）

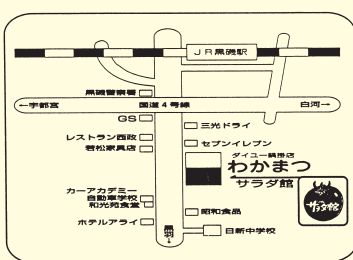
公益性の判断

一般社団法人・一般財団法人のうち希望する法人に対して、民間有識者による委員会の意見に基づき行政庁が認定

・ 統一的な判断 ・ 明確な基準を決定



年中無休 あさ10:00～よる8:00



快気内祝 出産内祝 七五三
御歳暮 新築祝 法事・法要

栃木県那須塩原市鍋掛1087

☎0287-64-0123



贈り物・お返しものは、**わかまつ サラダ館**



リース資産の税務処理が変わりました

平成20年 4 月 1 日以降に締結したリース契約から適用されます。

1. 改正内容

リース資産は、従来から賃貸借処理でほぼすべて行っていましたが、原則として賃貸借処理は廃止され、売買処理で行うことになりました。ただし、次のリース取引に該当する場合は、賃貸借処理が可能です。

- (1)リース期間が1年以下のリース取引
- (2)リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引で、契約の中途解約が禁止され、リース資産の賃借人が、そのリース資産の経済的な利益を受け、かつ、その資産の使用に伴う費用を実質的に負担するリース取引。

2. 法人税処理

リース資産の引渡しの時にそのリース資産の売買があったものとして処理します。賃借人が賃借料として損金経理をした金額は、「償却費として損金経理をした金額」に含まれ、そのままリース料が損金算入されます。リース資産の償却方法は、リース期間定額法に限られます。

3. 消費税等の処理

リース資産の引渡時に資産の取得をしたことになります。

4. 5年リース（月額12,600円）でコピー機を取得した場合の仕訳例

(1) 20年 3 月31日まで		賃借料	12,000	普通預金	12,600
		仮払消費税等	600		
(2) 20年 4 月 1 日以降					
売買処理	①取得時	リース資産	720,000	長期未払金	756,000
		仮払消費税等	36,000		
	②支払時	長期未払金	12,600	普通預金	12,600
賃借料処理	①取得時	仮払消費税等	36,000	長期未払金	36,000
	②支払時	賃借料	12,000	普通預金	12,600
		長期未払金	600		

リース区分		所有権移転外リース	所有権移転リース
リース契約終了時 リース資産の帰属は？		返還又は再リース	無償又は少額な金額で 譲渡される
法人 税	売上に該当か	売買取引とみなす	売買取引
	減価償却	リース期間定額法 (賃借料処理を償却費とみなす)	リース料の総額を取得額 として通常の減価償却
	少額減価償却資産（一時償却） 一括償却資産（3年均等償却） 特別償却	適用なし	適用あり
消費税等		リース資産引渡し時に、リース資産取得したとして 一括して仕入税額控除	

索道、ケーブルクレーンの設計・製作・施工
 工事用モノレールの設計・施工
 吊り橋、ワイヤーブリッジの設計・施工
 工事用機械の組立・設置
 土木・造園工事

ISO9001:2000 認証取得



株式会社 赤川索道

本 社 〒329-3152 栃木県那須塩原市島方658
 TEL 0287-65-0602 FAX 0287-65-0739
 鹿野崎機材管理センター 〒329-3121
 栃木県那須塩原市鹿野崎井戸林183-11
 TEL 0287-60-0250 FAX 0287-60-0250
 E-mail agsakudo@nasuinfo.or.jp
<http://www2.nasuinfo.or.jp/userhome/agsakudo/>

青年部コーナー

● 社会貢献活動・青少年育成講演会 ●

平成11年より実施しております菊山紀彦先生の講演会は19年度末で管内49校が終了いたしました。毎回数多くの質問が出ましたが、映像を交えながら丁寧に答えて下さいました。



2月4日 大原間小学校にて

● 青年部研修会 ●

2月6日、西那須野「いとう」にて、開催。

税理士でもある「高橋 幹氏」を迎え、「後継者のための事業継承のコツ」の演題で話され、「引き継ぎで大切なことは“物・金”ではなく“人脈”ですよ」の、この一言が大きな意味を持つ講演でした。



講師 高橋 幹氏

● 少年野球教室 ●

5月5日に元プロ野球選手が子供達に野球を指導する「第14回CALPISこどもの日全国野球教室」が開催され、法人会青年部が地元主催者として参画致しました。管内の小学生など228名と大勢の保護者の協力のもと、プロならではのアドバイスや、プロの投球で直接打つことが出来たりと、子供達にとっても貴重な一日となりました。元気に走り回る子供達の楽しい様子を見ることにより、時間をやりくりして企画した執行部も大満足でした。

● 視察研修・宮崎へ行こう！ ●

3月2日、“宮崎をどけんかせんといかん！”の東国原知事で話題の宮崎県庁を視察致しました。3日にはゴルフ組と観光組に分かれ、それぞれに楽しい一日を過ごしました。お天気は最高・黄砂も最高でした。



東国原知事と一緒に？

● 「安全パトロール」ステッカーを寄贈 ●

かねてから検討を重ねておりました“管内小中学校に「安全パトロール」ステッカーを送る”の企画がとうとう実現致しました。那須地区PTA連絡協議会を通じ、450枚を寄贈致しました。毎年継続して送ることになります。

資金は、チャリティーゴルフ大会の収益金を充てますので今後実施の折にはぜひ、参加協力をお願い致します。



「安全パトロール」ステッカーを囲んで



パソコンのネットワーク・サーバー

株式会社 沢田書店 外商部

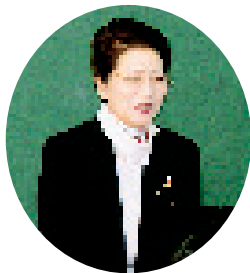
那須塩原市西大和2-42

TEL 0287-37-4422

U R L : <http://sawadasyoten.co.jp/>
Eメール info@sawadasyoten.co.jp/

女性部コーナー

◎租税教室・開催◎



田中女性部長が先生です

着々と準備を進めて来ましたが、2月7日・蜂巢小学校で第1回目の実施となりました。子供達にとっても初めての租税教室でしたが、“税金がどのように使われているか”や“納税の大切さ”をビデオやクイズで学び最後には質問が出るほど積極的な授業となりました。



我も我もと並ぶ子供達

◎法人会全国女性フォーラム「東京大会」◎

4月10日、「グランドプリンスホテル新高輪」にて開催されました。全国からの参加者は1900名にも及び、盛大な催しとなりました。栃法連女性部も49名の参加でした。・事例発表・記念講演・式典・懇親会と続き、熱気に溢れた華やかな大会でした。

石原都知事も挨拶に！・今なお美しい！岸恵子さん
講演「私の人生ア・ラ・カル・ト」

◎観劇とビデオ研修会◎

2月14日・恒例の観劇です。車中ではビデオー熱血教師の「租税教育の現場から～」—83分収録分—での勉強会を実施。

観劇は東京「ル・テアトル銀座」にて「恋はコメディ」でした。主演の渡辺えりさんはコミカルでひょうきんな役にピッタリ、達者な芸を見せてもらいました。浅丘ルリ子さんは、美しく上品で若々しく、しかも貫禄もあり、さすが…でした。夕食は、帝国ホテルでのバイキングディナーと、自分に“ごほうび”の一日でした。



◎ウォッシュクロスの寄贈・継続事業◎

4月2日、日赤にお届け致しました。

つねに品薄状態ですので、毎回非常に喜ばれております。皆様からの綿布のご提供、引き続きお願い致します！



◎「ヨガ」体験と「税務研修会」◎

3月7日、大田原市「いわいや」にて開催。女性部員でもある沓掛美子先生の指導のもと、お香を焚いてリラックスした雰囲気の中、音楽に合わせて体を動かし、自分の体が適応できる範囲で熱心にポーズを取っておりました。皆さん楽しくて“笑顔”“えがお”😊が溢れておりました。

～カメラマンもヨガに熱中するあまり、職務を忘れてしまいました（当然映像無し）～

午後は、大田原税務署・内田統括官の「税務行政の現状について」と題しての研修会でした。最後に真摯に質疑応答がなされ、皆さんの税に関する意識の高揚がうかがえました。



会場内風景



砂利採取・販売 解体工事業請負 リサイクル骨材販売

株式会社 鈴木砂利店

代表取締役 鈴木利男

〒329-2743
事務所
黒磯工場

栃木県那須塩原市南赤田323-34
☎0287-36-0406(代) FAX 0287-36-0867
☎0287-65-0608

名古屋の旅

2月19日～20日にかけて、視察研修に出かけました。行きは新幹線を使い、駅前の名古屋で一番高いビル、ミッドランド・スクエアを見学しました。名古屋といえばトヨタですが、ビルの中には最新型のトヨタの高級車が展示してあり、しかも試乗OK（その場で乗るだけですけど…）リッチな気分を味わいました。三菱東京UFJ銀行の紙幣資料館にも寄りましたが、日本及び世界の珍しい貨幣を丁寧な案内のもとに見学する事ができました。

夜は名物の“ひつまぶし”を食しに参りましたが“超美味”とにかく旨い！、全員大満足でした。

翌日はトヨタテクノミュージアム・産業技術記念館に寄りましたが、これがまた、すごい！豊田織機の歴史が詰まった館内は、まさに、“時間を忘れる”状態でした。みんなで見ると余計楽しいのかも？次にノリ

タケの森に寄り、陶器のノリタケの歴史と製作過程などを見学。記念に一品購入して、バスでの帰途となりました。ビデオ研修は「税制改正」でした。総括しますと、“名古屋は中身が濃いですね”。



支部コーナー

那須支部

平成20年4月20日(日)、芦野御殿山公園特設会場において「芦野御殿山さくら祭り」並びに第10回記念「那須ヨサコイ大会in芦野」が開催されま



した。ヨサコイ踊り参加団体10チームが、コンテスト部門や自由演舞部門など演舞数24曲に魅力あふれる踊りを繰り広げ、会場は参加者と来場者の熱気で大いに盛り上がりました。

芦野猟友会が狩猟したイノシシが入った鍋が、大人気で模擬店のわた飴や金魚釣りゲームなども行われ楽しいひと時に酔いしれたさくら満開の一日でした。

黒磯支部

新春会員研修会

黒磯支部新春会員研修会を1月16日(水)に開催いたしました。講師として大田原税務署より法人課税第一部門、内田統括官様、和久上席調査官様を派遣頂きました。講習会は「税制行政の現状」と「税制改正」を中心とした講話内容で46名の参加会員が熱心に耳を傾け受講しておりました。



メモをとる参加者

社会貢献活動

去る2月15日(金)栃木県赤十字血液センター主催の献血活動を実施いたしました。前回同様、市内スーパーにて、当支部役員による店頭、駐車場での呼び掛けを行い、また企業への事前通知を行い、厳しい寒さの中、33名の申込があり29名の方に献血を頂きました。当支部は、協力者に玉子1パックを粗品として提供いたしました。今後も引き続き社会貢献活動の一環として、黒磯支部はこれからも積極的に実施して参ります。



黒羽支部

「法人会って何？」

～黒羽支部研修会開催～

黒羽支部では、平成20年3月18日（火）ホテル花月において、19名の会員の参加を得て支部研修会を開催いたしました。

今回は、栃木県法人会連合



講師の大屋専務

会専務理事の大屋勲宏様を講師に迎え、「法人会って何？」というテーマでお話いただきました。さらに、当支部の会員でもある加藤会長からも、大田原法人会の活動状況についての具体的なお話と、今後の会活動への参加と協力についての呼びかけが行われました。

法人会が、研修会や地域貢献活動・意見活動など様々な活動を行っていることを再認識するとともに、活動に参加する中で得られる生きた情報と人的ネットワークが新たなビジネスチャンスにつながるなどを改めて確認し、示唆に富んだ意義深い研修会とすることができました。

西那須野支部

西那須野支部女性部恒例事業の一つであります、福祉奉仕活動事業・ウォッシュクロスカットを部員協力のもと作業を実施し、20年3月27日大田原赤十字病院に寄贈してまいりました。

赤十字病院・社会課担当、西村さんのお話ですと、ウォッシュクロスの需要が非常に多く、不足しているものでありがたいことだと、大変喜ばれました。少しでもこの活動が役に立てば、支部女性部としてもうれしいかぎりです。

黒羽支部

河川別鮎漁獲量日本一

那珂川の鮎漁解禁



河川別鮎漁獲量が日本一の那珂川。この6月1日に鮎漁が解禁となり、この時を待ちわびた太公望が各地からやって来ました。

黒羽地区の那珂川沿いには夜が明けきらぬ前から釣り人が集まり、空が白みはじめると同時にまだ暗い川に入り釣りを始めます。

全国的にも好漁場として知られる那珂川では、毎年釣具メーカーが主催する全国レベルの鮎釣大会が何度も開催されるなど、期間中多くの釣り人でにぎわいを見せます。鮎釣りの状況が黒羽地区への経済効果にも多少の関わりがあるだけに、鮎釣りをしない人にとっても気になるところです。

那珂川の清流と美しい自然環境を守り、この鮎釣り風景が絶えることのないよう、願いたいものです。



人と自然環境にやさしいフィッシングライフを。



那須ダイワ株式会社

〒324-0246 大田原市寒井1464-11
TEL0287-54-3111 FAX0287-54-3110



中高齢者への対応で会社の品格が問われる

経済評論家・作家 荒 和 雄

「企業は人なり」と言われてから久しいが、高齢化・少子化の予想以上の進展の中で、いま、改めて長年会社のために貢献し続けてきた中・高齢層の人達への会社の対応が問題になっている。その取扱いいかんによって会社の品格、信用が問われる時代になった。

毎年新しい年度に入ると、企業規模の大小を問わず、新入社員で、会社は明るい雰囲気にも包まれるが、一方、定年あるいは早期退職奨励制という名のリストラの実行によって会社を寂しく去る人もいる。「年々歳々花同じなれど、人同じからず」という毎年みられる会社風景であるが、いくら会社の業績向上のためとは云え、中高年の人達への処遇いかんでは会社そのものの存在すら疑われる。

老熟練工の技とチャレンジ精神を活用、安定的発展

栃木県大田原市大輪にある(株)山形屋（代表取締役社長・加藤利勝氏）の創業は江戸時代である。同社は刀鍛冶から始まり、伝統ある焼き入れ技術を生かして、部品加工から組み立てまでをモットーに、機械・板金・プレス・組立等を一貫製造して行う少量・多品種の金属加工のメーカーである。

同社は、最先端を行く技術と長年培われた技術面のノウハウを持っているため、大手企業を始め受注先から少量・多品種の発注、特注品を引き受けるほか、自社製品として「無人駐車場管理機」や「遠赤外線除菌・消臭・乾燥機」などを製造販売している。いわば時代の先を行く先端技術開発型の典型的な企業であるが、9代目となる当主・加藤社長に率いられての同社の安定的な発展は、何といても匠の技を集めての技術革新とチャレンジ精神にあるといっても過言ではない。が、実際工場を見学した際に筆者を驚かせたのは、第一工場の鍛造現場で働く老熟

練工の真摯な姿にあった。聞くところによると一人は80歳、もう一人も65歳を超える熟練工であった。

「彼らがうちの財産であり、誇りでもあります」と語る加藤社長の穏やかな表情には、技術だけでなく、その技術を生み出す人間を大事にする姿勢がみられ、また額に汗を流しながら熱い炉間に素材を入れ、部品を作り続ける技術者達の姿勢に、仕事をすることの喜びと生きがいを感じられた。

「技術革新」と一口でいう事は易いが、江戸時代からの刀鍛冶匠の技の開発とその技術は、こうした老練の技術者によって継承されてきたという。一般の会社でいえば、とうに定年になって自適の生活を送っているだろう人達であるが、同社のように技術を大事にすることは、別の見方からすると、技術を生み出す人を大事にすることに他ならない。同社の発展の秘訣は、若い技術者の頑張りとは、こうした老熟練工の熱き思いが上手にかみ合っているものとみられた。

容赦ない定年組への扱いに不安渦巻く

一方、これに反してAプラスチック・金型のメーカーは、会社の業績が低迷していることを主な理由として、60歳定年制を容赦なく実行、再雇用制度はあるものの、勤務時間を始め、働く条件は前の職務と同じで、ただ定年を迎えたとの理由で、全社員一律にこれまでの給料及び賞与を含めて年収の半分にすることを再雇用の条件にしたという。

A社の年金支給は、多くの人は65歳からで、長年A社に貢献してきた人達にとっては特別な人縁もまた技術力や営業力をもっていない人達も多いため、多くの定年者は、不満を抱えながらも再雇用の条件に応じているという。

またB信用金庫の中高年齢・定年組に対する処遇も

人の心の痛みが全く分からない処遇である。

B信用金庫のある支店長は、本店人事部の出向打診を「勤務先が遠く、両親の介護が十分できない」と断ったところ、一転して態度を硬化、「人事部に反抗する者」として、いったん関連会社に転勤させた上で、こともあろうに支店長として勤務している店の警備員として派遣させたという。

この支店長、三か月は我慢して元いた支店の警備員勤務をしたものの、さすがに本人のプライドと顧客の驚きの中で、退社していったという。この実直な支店長に対する第二の人生の職場への人事部の心ない処置に、B信用金庫のかつての同僚や部下達の間に大きな驚きと不安が渦巻いているという。

現役組の働く姿勢にも影響

以上の通り三社の中高年齢者への対応を、ケースを通じてみてきたが、そこには会社の品格、そのものが如実に表れているといえよう。

中高年齢者を一定年齢以上雇用できない、あるいは再雇用したくても会社の事情がそれを許すほど業績が上がっていないという理由もあるが、やはりそこには再雇用しなくても本人達が生きがいを持って働き続ける生活設計を事前に教育しておくべきであろう。

特に熟練工などの人達は、特定分野に関しての技術やノウハウをもっていることも多いので、その知識なりを生かす職業へのあっせんも必要だろうし、また就業中にきちんとした定年後のライフプランを作成するように指導することも、長年会社のために一生涯尽くしてくれた人達には必要だ。ただ単に、会社の都合だけを考へての定年組への再雇用を含めての処遇、人を大事にしない会社は、遠からず滅びることを経営者は

しっかりと心に留めておくことが大切だ。

中高年齢者への処遇は、若い人たちもクールにみており、「やがて自分達も同じ運命」に立たされると鋭く感じるはずだ。人を大事に取り扱うか否かは、文字通り「会社の品格」を表す。人を大事に取り扱わない会社は、たとえばいま好業績をあげても、やがて人の面から崩壊するものだ。それは最近の食品安全に関する内部告発のケースをみてもよく分かるものといえよう。

【筆者紹介】

荒 和雄（あら・かずお）
早稲田大学法学部卒。東京都民銀行支店長などを経て独立。経済評論家・作家として講演やテレビのコメンテーターなどで幅広く活躍。金融経済・中小企業経営関係の著書は150冊を超える。



会 員 研 修 会



講演中の竹澤署長

3月24日、理事会ののち、会員研修会が開催されました。

大田原税務署竹澤署長による「税の雑学」と、会報でおなじみの荒和雄先生の「成功する2代目・3代目経営者の条件」の講演でした。

竹澤署長は映画「^{ふとうふ}不撓不屈」が、栃木県でおきた「飯塚事件」がモデルである

ことにふれ、1人の税理士と国税局との戦いについての興味深い話であった。

荒先生は、銀行支店長であった経験をもとに、銀行との付き合い方、世代交代時の対応など、きめ細かに話された。特に同族会社については、①父子世襲型②兄弟提携型③夫婦共同型④義兄弟型⑤養子縁組型に区分けし、それぞれの長所や欠点について述べ、更にバトンタッチをどうするかでは①物のバトンタッチ（自社株は3分の2以上引き継ぐ等）②人脈のバトンタッチを上げ、人脈のバトンタッチが何よりも大切な財産であるのに意外と忘れられている事を指摘していた。創業の原点は物・金・人脈であり、成功するには①好きなことをやる②少子化・高齢化・好きな人一緒に生活する（パートナーにする）③地元や社会に貢献する、でした。最後に3つのキーワードにふれ①感謝②感動③感性の重要性を解き、終了となりました。

〜〜栃木県法人会連合会〜〜

日 時 平成20年9月11日（木）～12日（金）
午後2時開会
場 所 鬼怒川温泉「ホテルニュー岡部」
講 師 第1部 関東信越国税局担当官
第2部 堀田 力 氏
(弁護士・さわやか福祉財団理事長)
演 題 「これからの働き方と生き方」

* 申込方法や会費等は後日の案内にてお知らせ致します。ぜひ、ご参加下さい！

6月5日の栃木県法人会連合会の総会に於いて下記の方が表彰されました。おめでとうございます。

- * 全法連 功労者表彰 （順不同・敬称略）
 - ・加藤 利勝
- * 県法連 功労者表彰
 - ・菊池 悟・中澤 達雄・若松 茂
 - ・伊藤 進・森 英夫
 - ・大田原法人会青年部（社会貢献活動）



講演会場風景

編 集 後 記



金燈籠（かなとうろう）は現在の国道400号線と461号線の交わる交差点（大田原市中央1丁目）に文政2年（1819）、大田原宿の有志38人により防火や町内安全、旅人の夜道の無事を祈願し上町十字路に建てられたものです。初代金燈籠は太平洋戦争

末期に「金属回収運動」により押収。二代目は、三斗小屋宿から譲り受けましたが、昭和53年に黒磯市に返却されました。現在は三代目で、昭和54年に地元商店街有志により初代そっくりに再現。市街地の中心にあって通行者を見守っています。

（大田原支部）